

平 27. 9. 18
総 20 - 4



女性のライフコースに 関する意識の分析

政府税制調査会

2015.9.18

釜野さおり

(国立社会保障・人口問題研究所)

ライフコースについての意識

結婚、出産・子育て、就業の関連を軸とするライフコースに関して、女性たちはどのように考えているのだろう

- 社人研の出生動向基本調査をもとに、みていく。

質問文(2010年、第14回調査)

- あなたの理想とする人生はどのタイプですか
 - 理想とする人生→理想ライフコース
- 理想は理想として、実際になりそうなあなたの人生はどのタイプですか
 - 実際になりそうな人生→予想ライフコース

集計するライフコースの分類

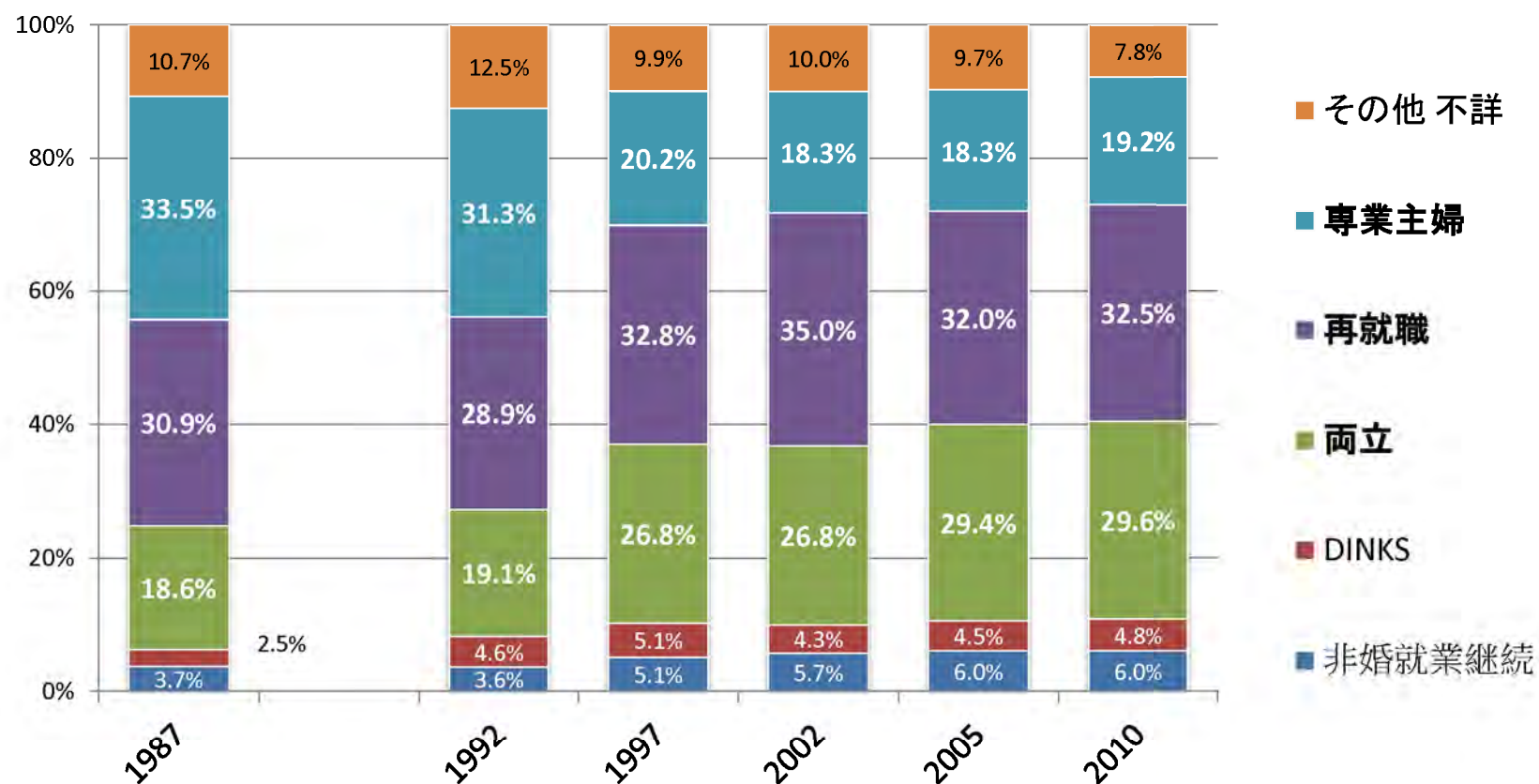
	回答選択肢
両立	結婚し子どもを持つが、仕事も一生続ける
再就職	結婚し子どもを持つが、結婚あるいは出産の機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ
専業主婦	結婚し子どもを持ち、結婚あるいは出産の機会に退職し、その後は仕事を持たない
DINKS〔共稼ぎ・子どもなし〕	結婚するが子どもは持たず、仕事を一生続ける
非婚就業	結婚せず、仕事を一生続ける
その他	

結婚経験がなく、調査時点で異性と同棲していない女性のデータを見る。
ここで示す各割合は、分析対象となった女性全体にしめる割合を比較。
(その他の回答や、不詳のケースも含めたまま集計。)

アウトライン

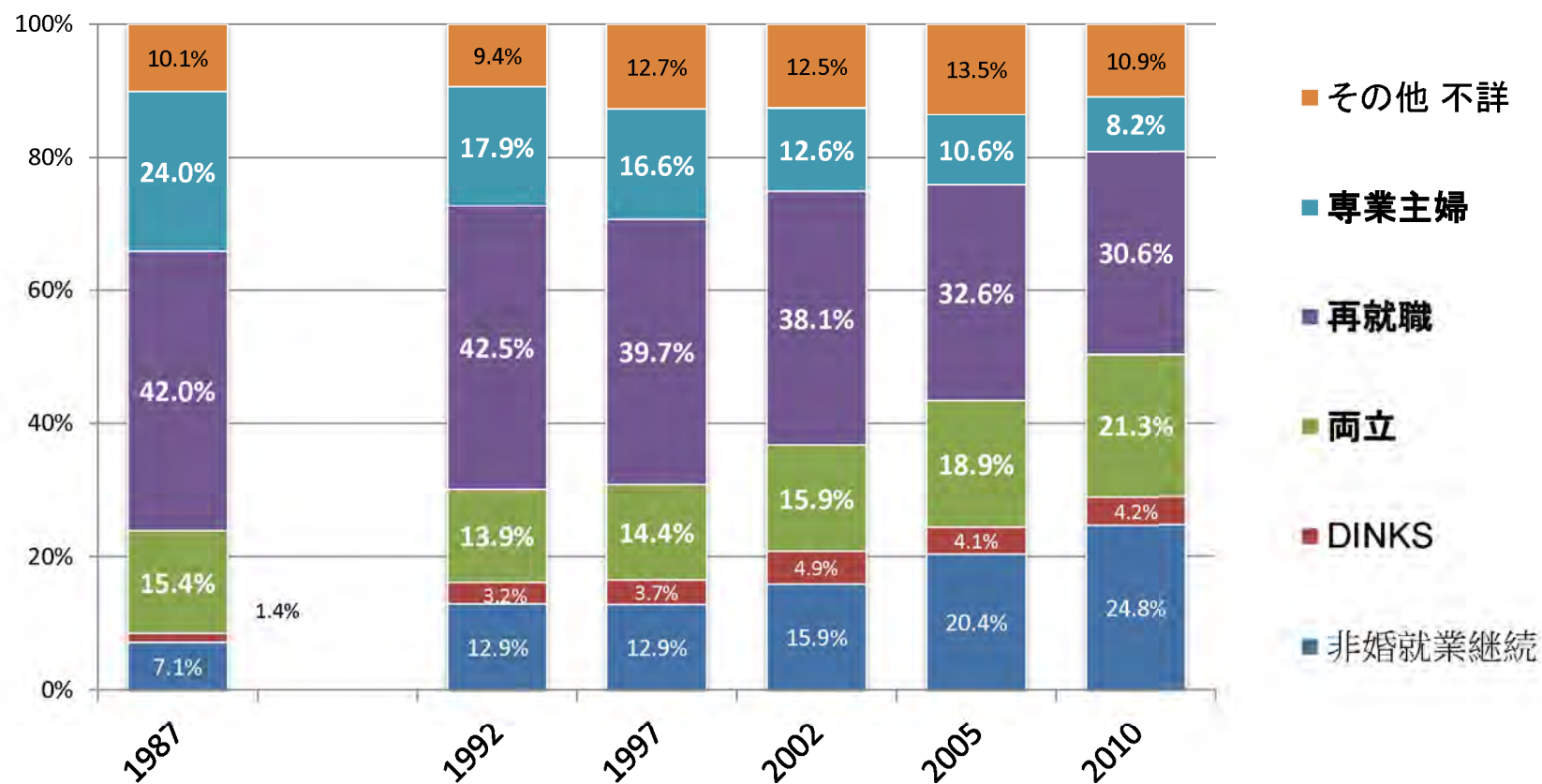
- 理想および予想ライフコースの経年変化
 - 経年変化(1987年～2010年)
 - 社会経済的属性別・ジェンダー意識別にみた経年変化
 - 出生年
 - 学歴、就業形態、収入
 - 親との同居の有無
 - 性別役割意識支持の有無
- 理想と予想ライフコースのギャップ
 - 経年変化
 - 両立コース(両立c)を理想とする女性の「予想ライフコース」
 - 専業主婦コース(専業主婦c)を理想とする女性の「予想ライフコース」
 - ギャップの規定要因

未婚女性の理想ライフコースの経年変化



集計対象: 結婚経験がなく調査時点で
異性と同棲していない18～49歳の女性
(1987年調査のみ18～34歳)

未婚女性の予想ライフコースの経年変化



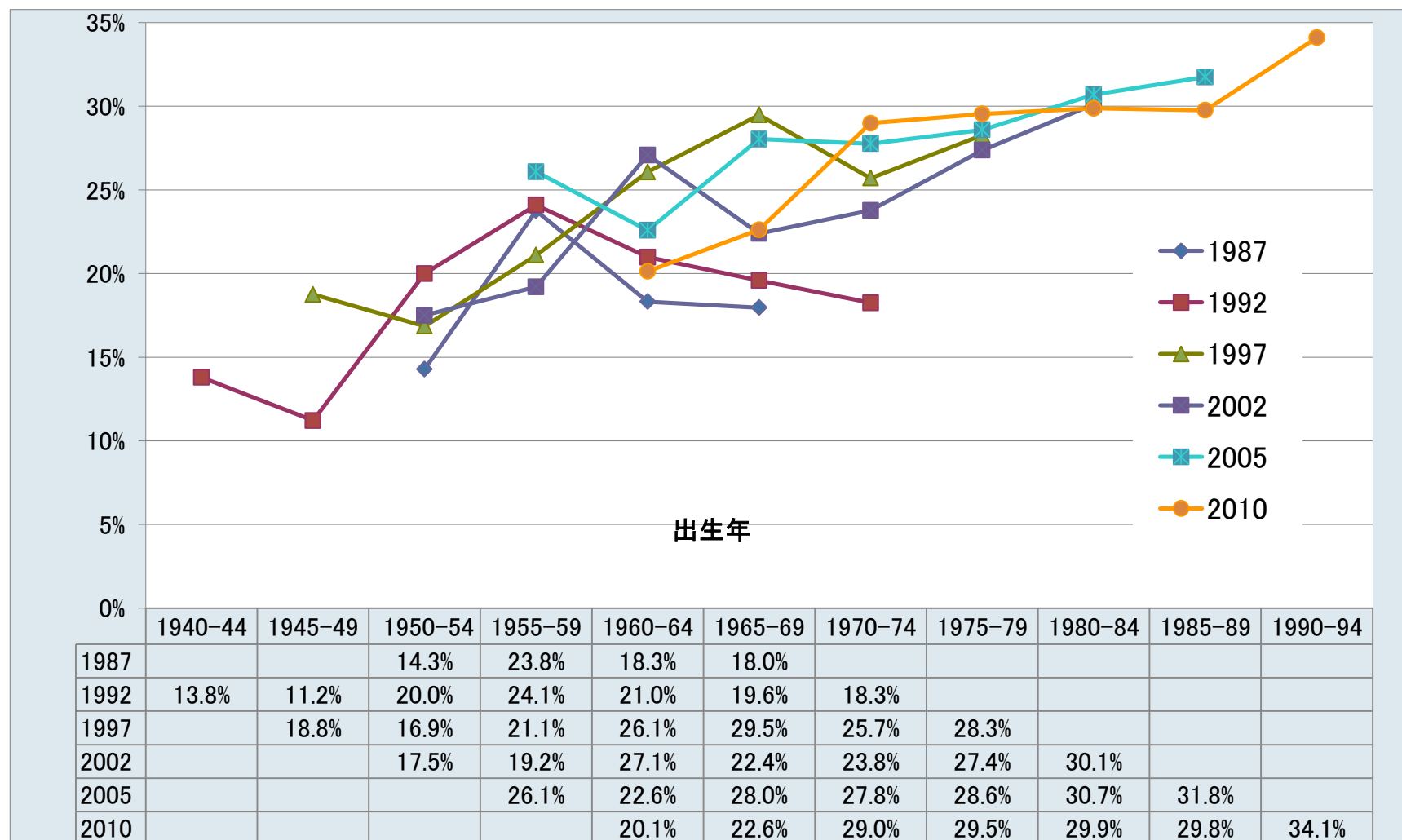
集計対象: 結婚経験がなく調査時点で
異性と同棲していない18～49歳の女性
(1987年調査のみ18～34歳)

理想と予想のライフコース(両立・専業主婦)

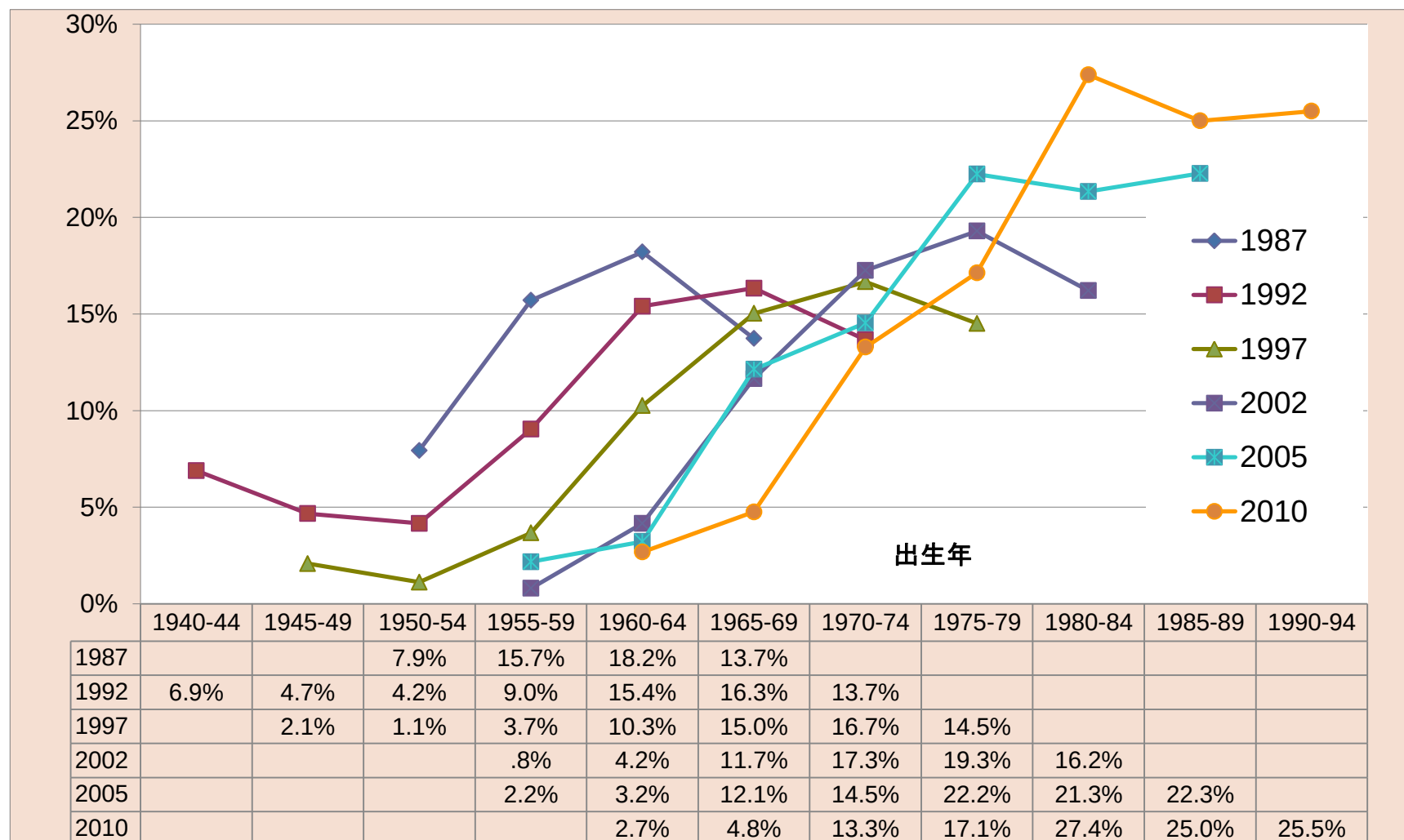
社会経済的属性別による集計結果

ジェンダー意識別による集計結果

未婚女性のライフコース 調査年別、出生年別にみた「両立コース」を理想とする割合

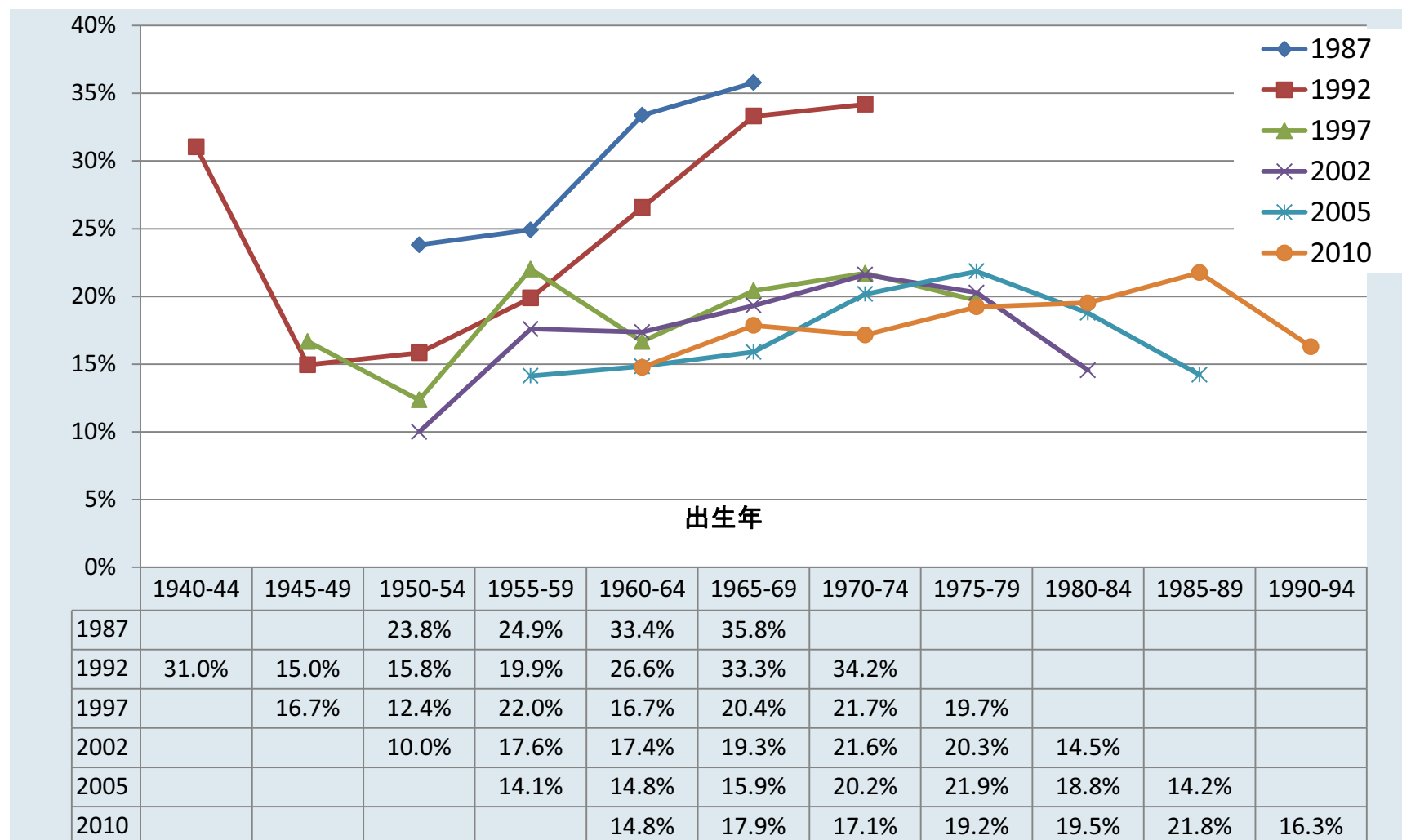


未婚女性のライフコース 調査年別、出生年別にみた「両立コース」を予想する割合

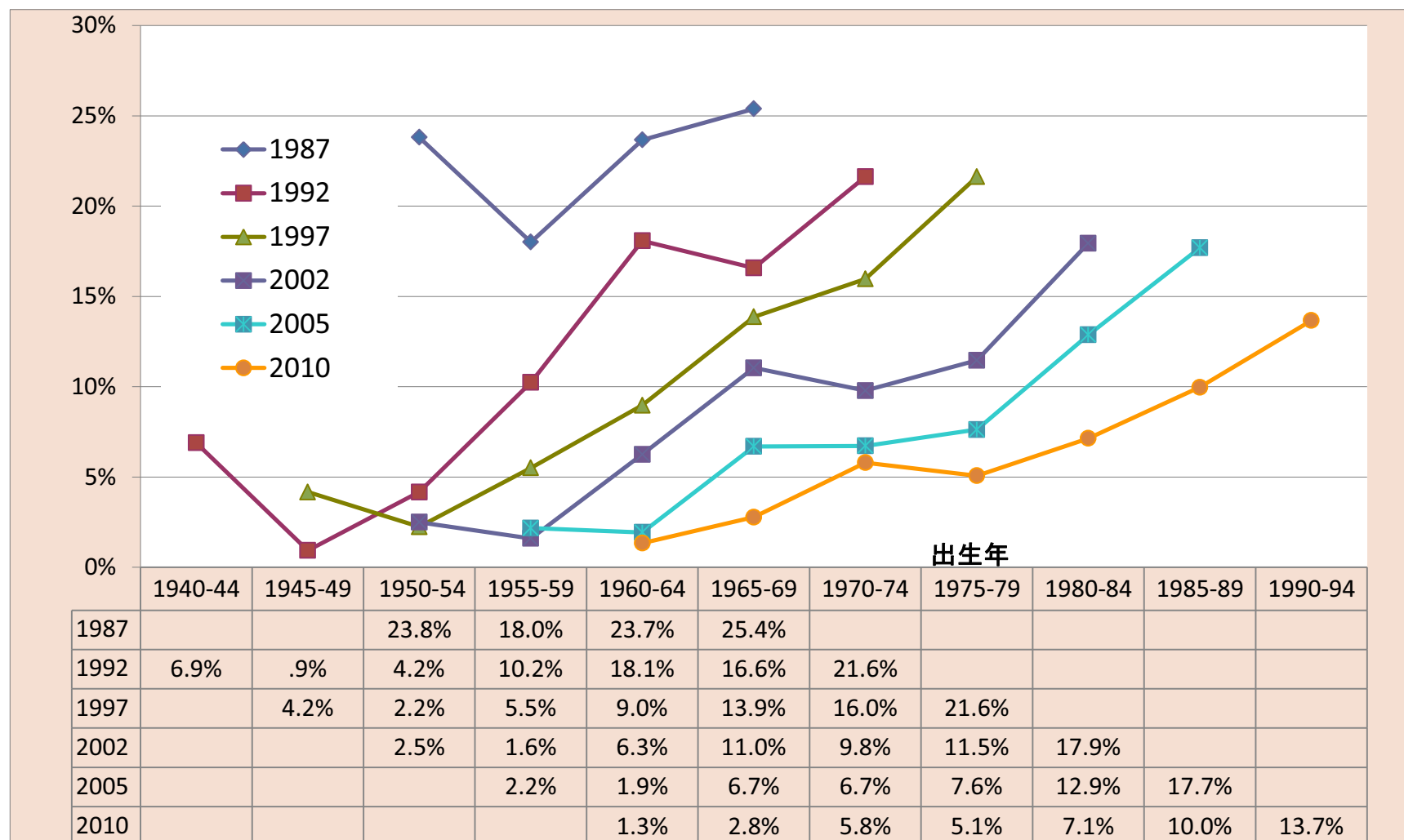


未婚女性のライフコース

調査年別、出生年別にみた「専業主婦コース」を理想とする割合

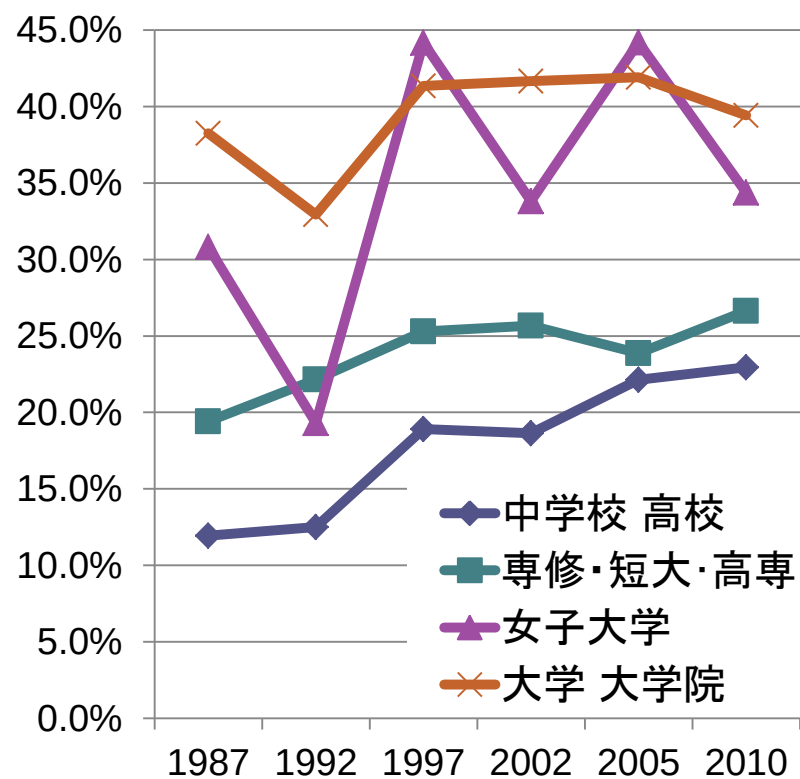


未婚女性のライフコース 調査年別、出生年別にみた「専業主婦コース」を予想する割合

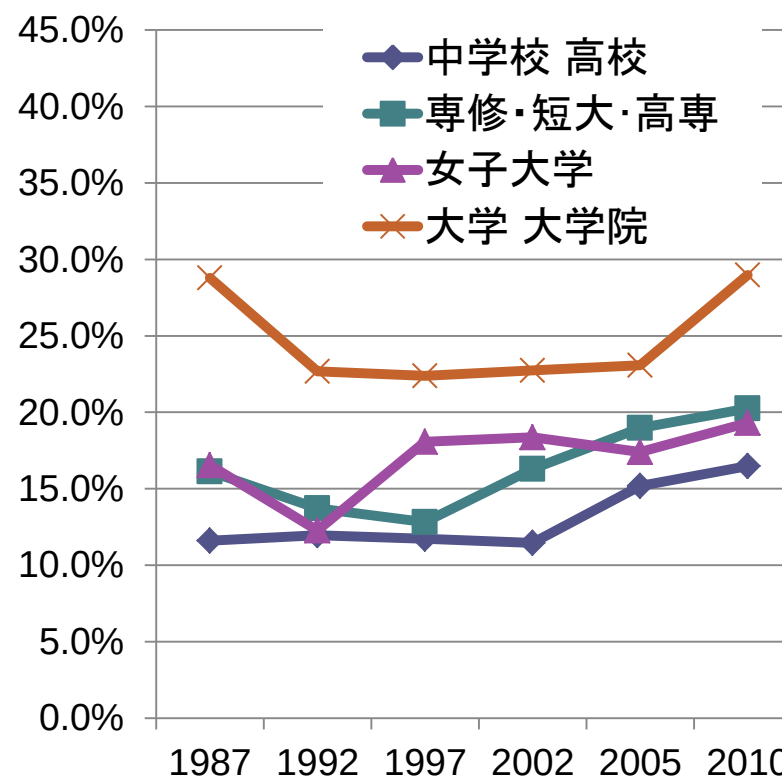


調査年別、学歴別にみた、未婚女性のライフコース 〔両立コース〕

理想＝両立

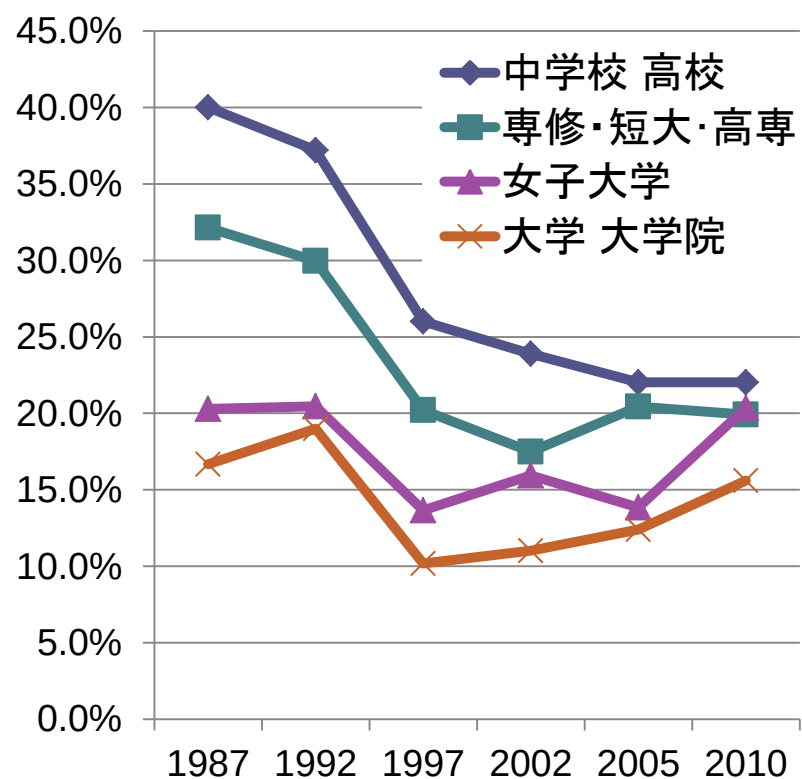


予定＝両立

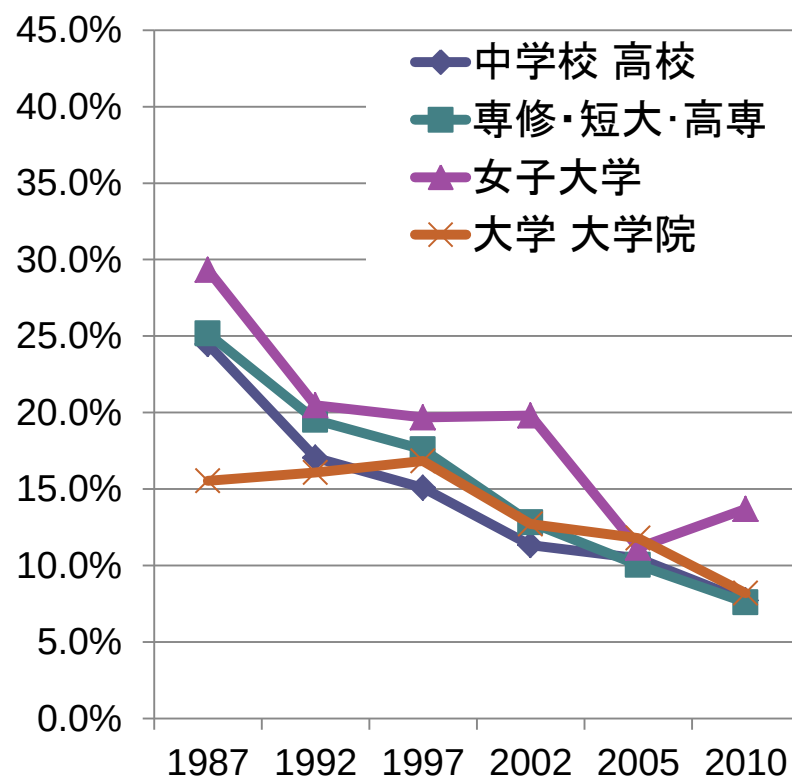


調査年別、学歴別にみた、未婚女性のライフコース 〔専業主婦コース〕

理想＝専業主婦

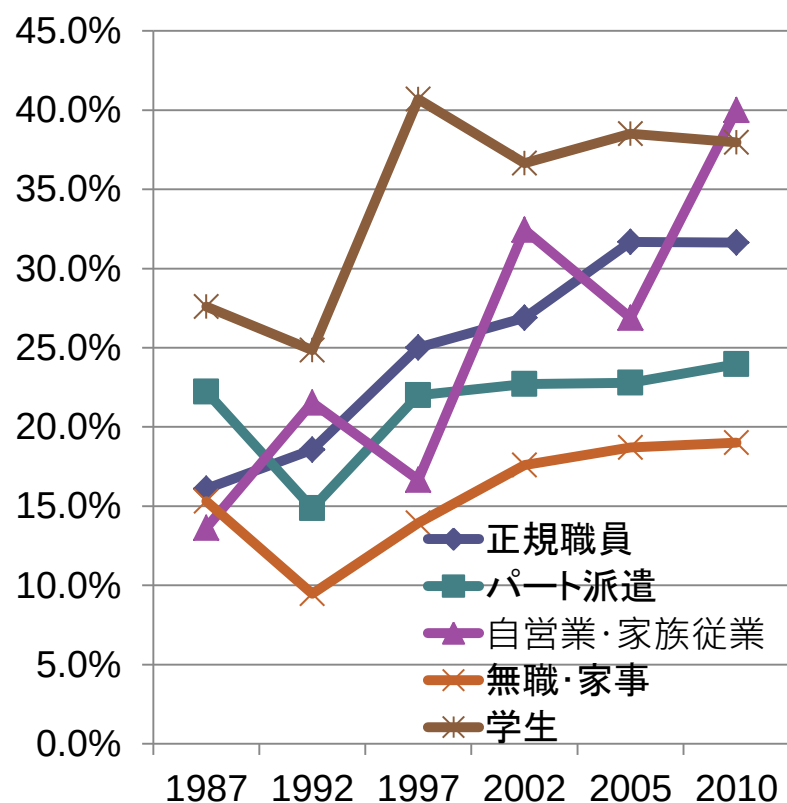


予想＝専業主婦

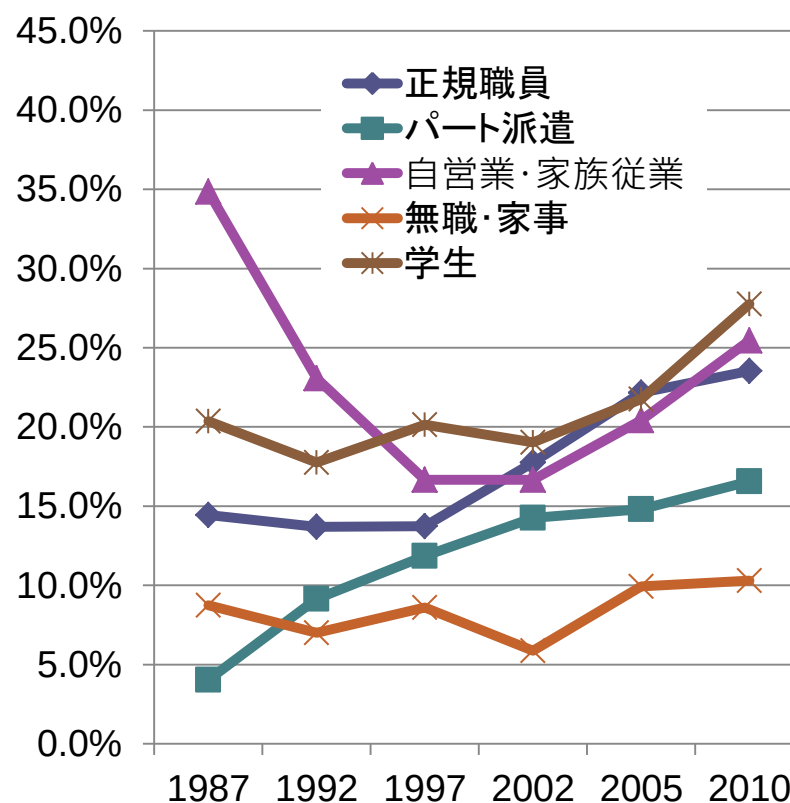


調査年別、就業形態別にみた、未婚女性のライフコース 〔両立コース〕

理想＝両立

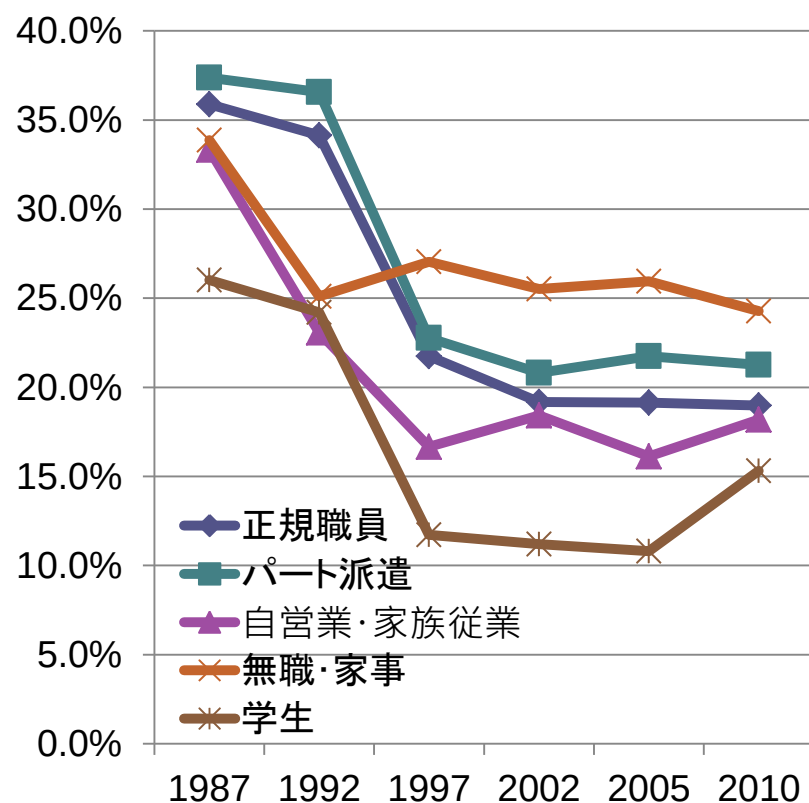


予想＝両立

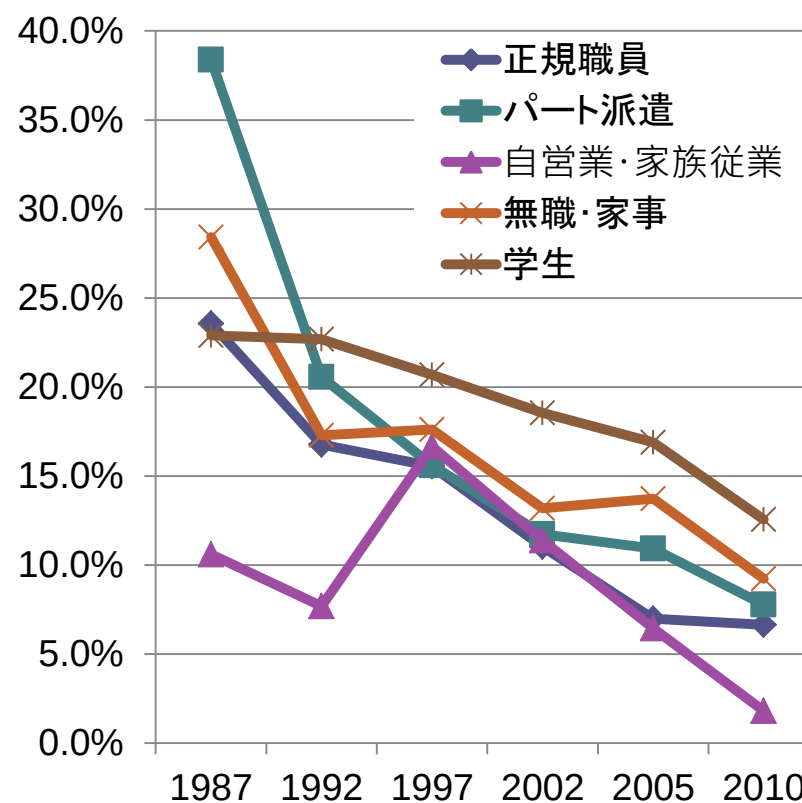


調査年別、就業形態別にみた、未婚女性のライフコース 〔専業主婦コース〕

理想＝専業主婦

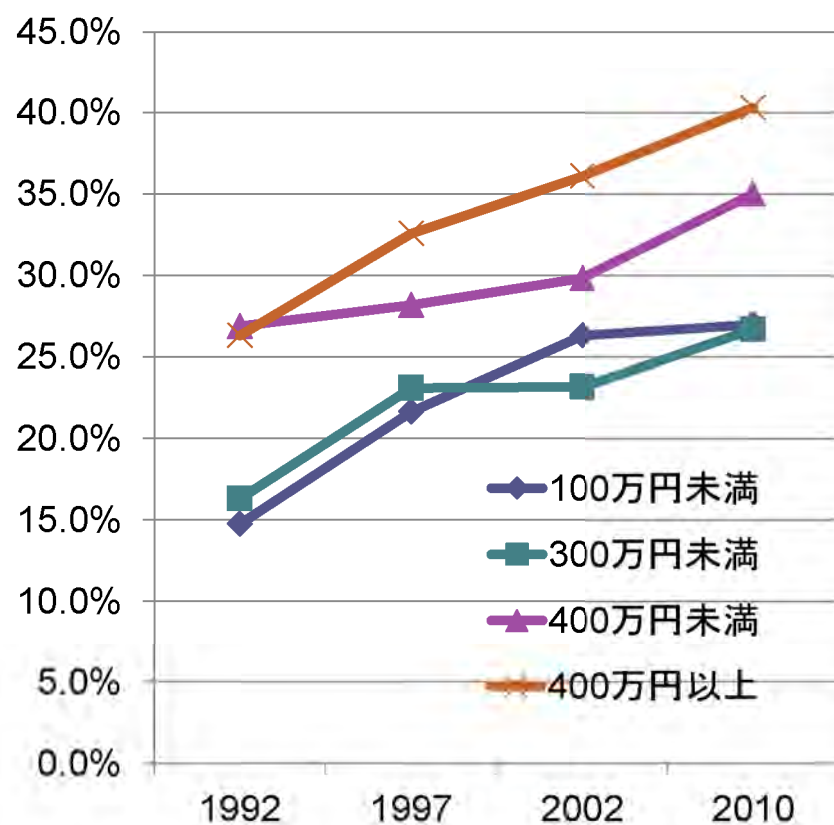


予想＝専業主婦

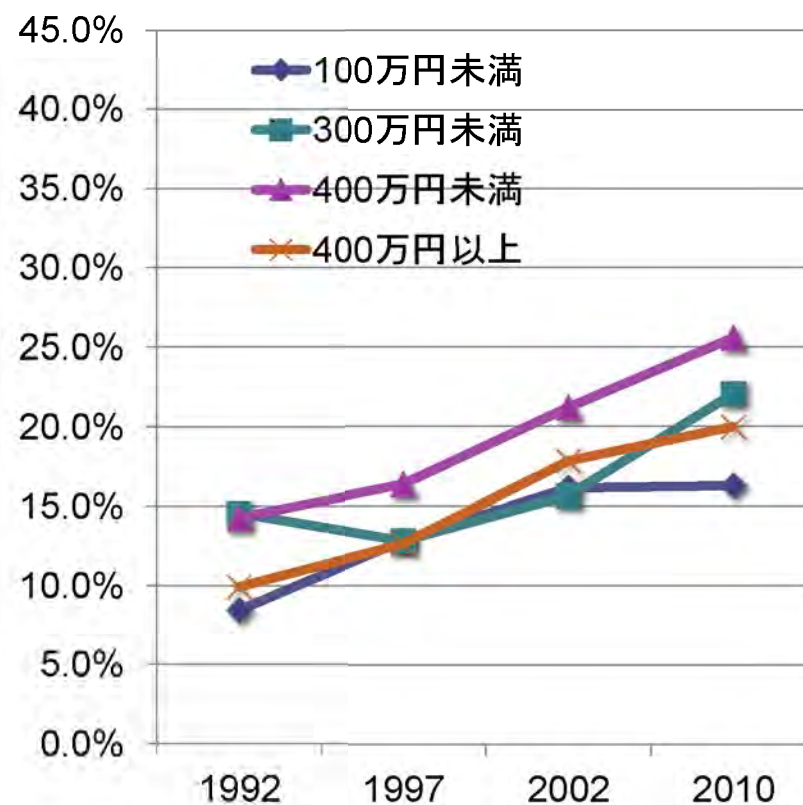


調査年別、収入別にみた、未婚女性のライフコース 〔両立コース〕

理想＝両立

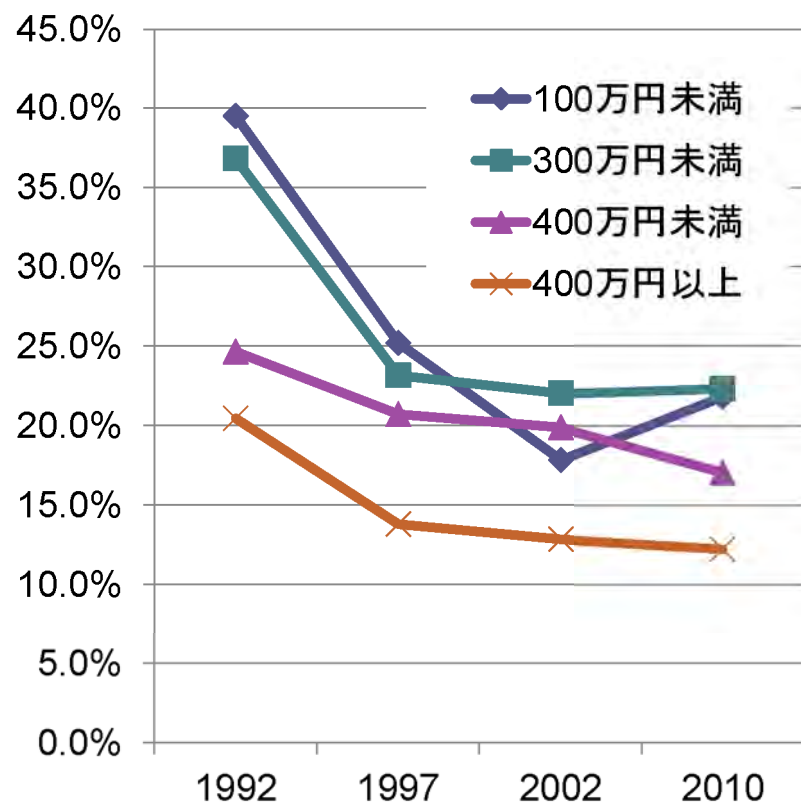


予想＝両立

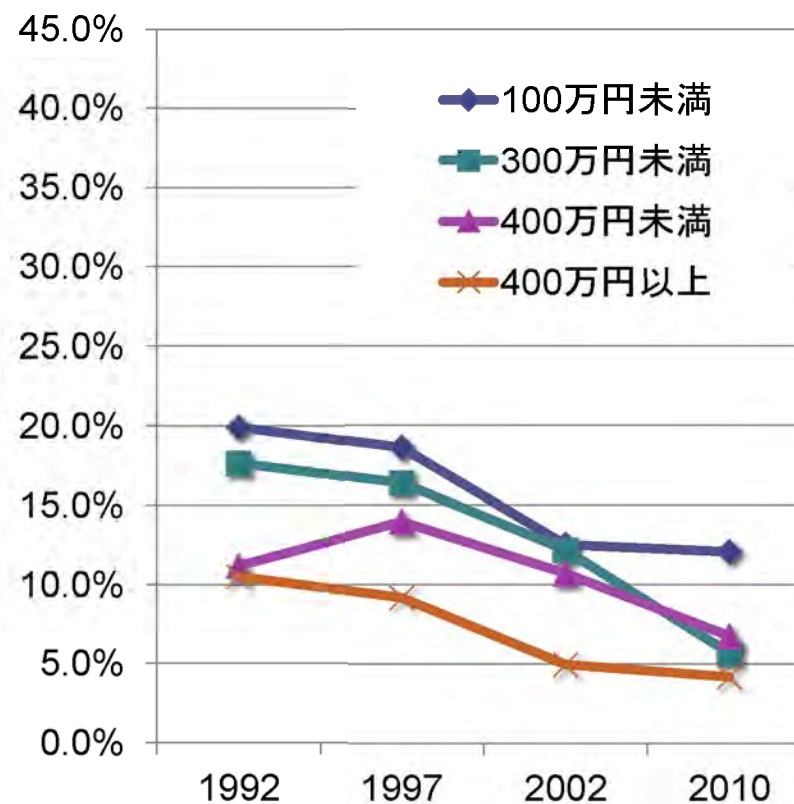


調査年別、収入別にみた、未婚女性のライフコース 〔専業主婦コース〕

理想＝専業主婦

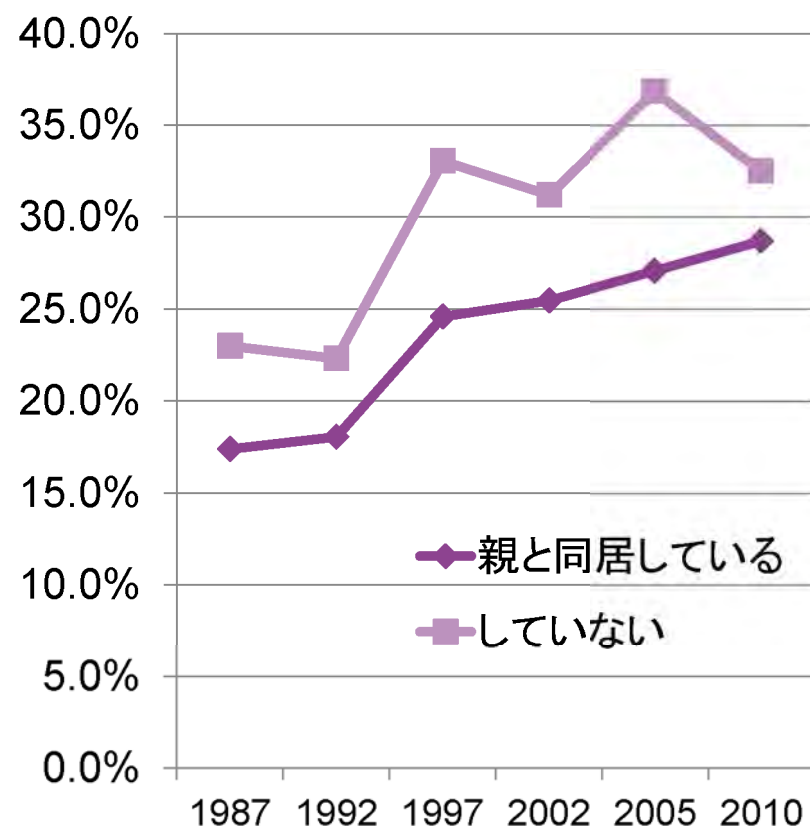


予想＝専業主婦

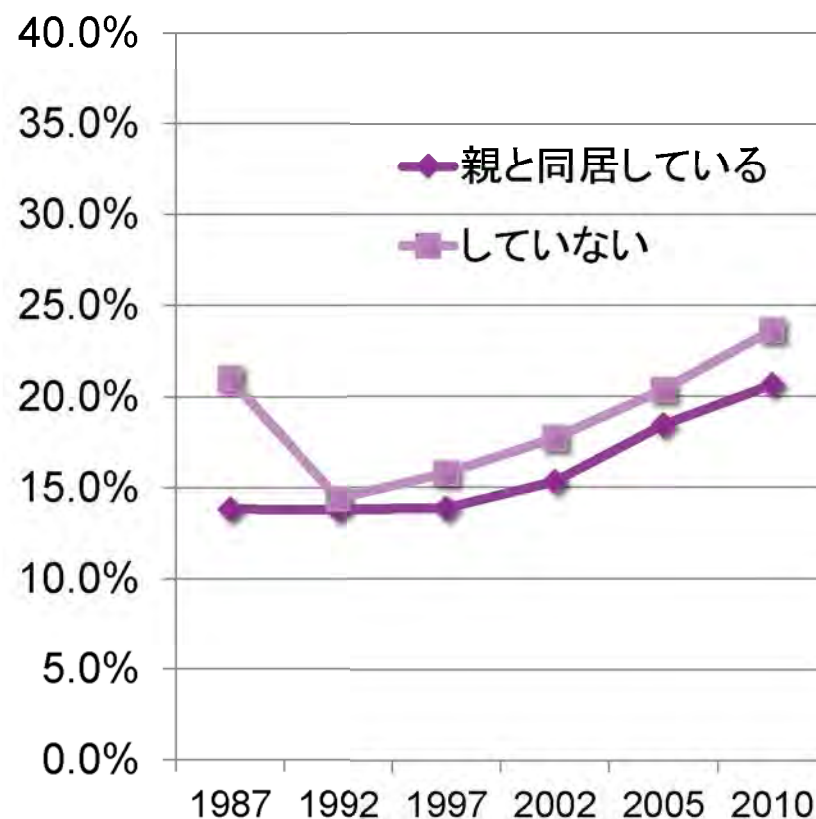


調査年別、親との同居の有無別にみた、未婚女性のライフコース 〔両立コース〕

理想＝両立

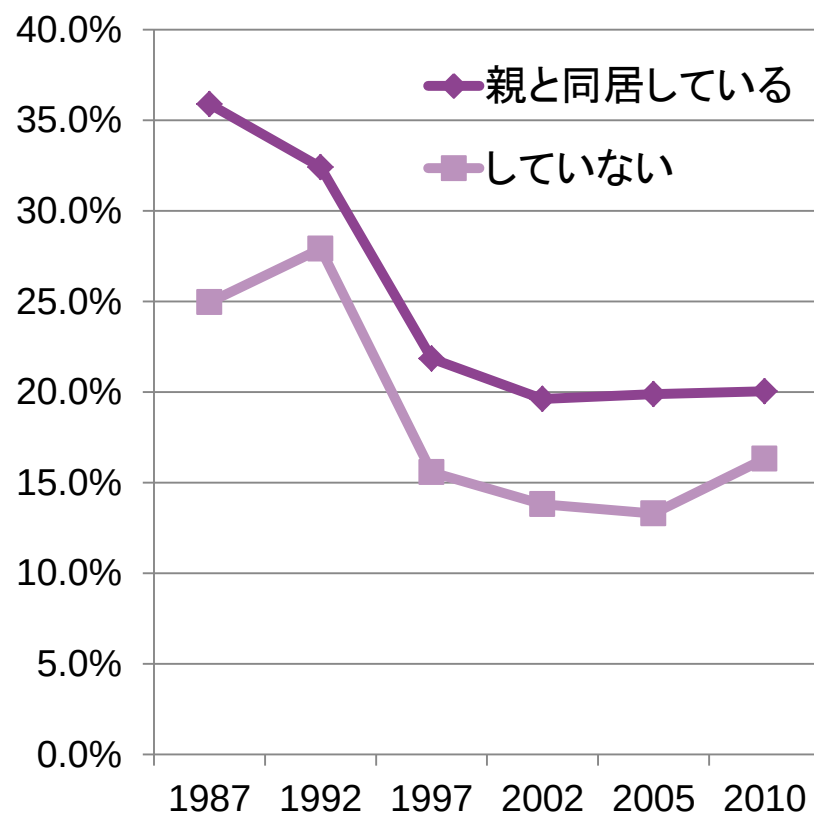


予想＝両立

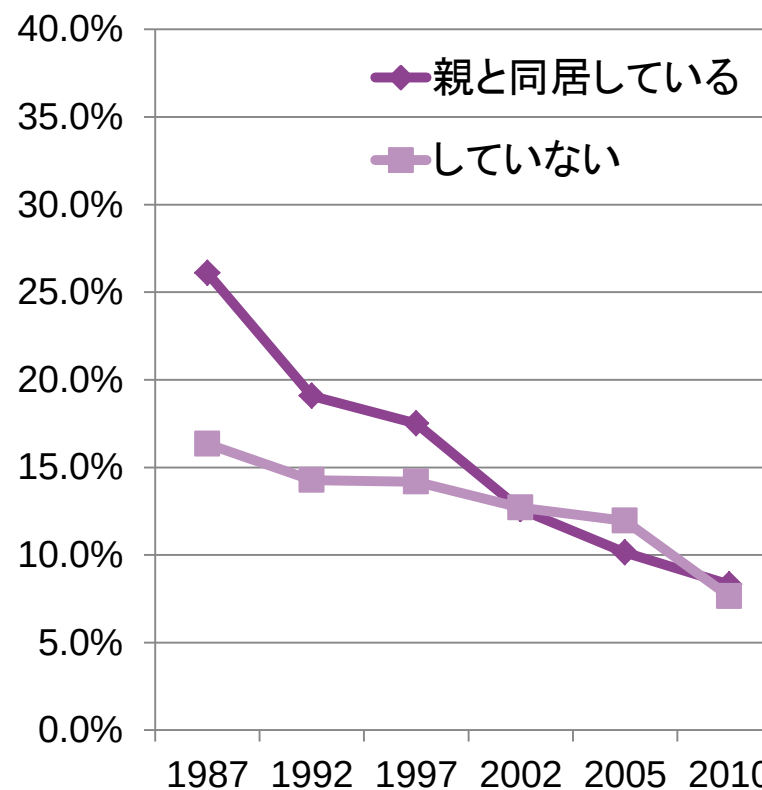


調査年別、親との同居の有無別にみた、未婚女性のライフコース 〔専業主婦コース〕

理想＝専業主婦

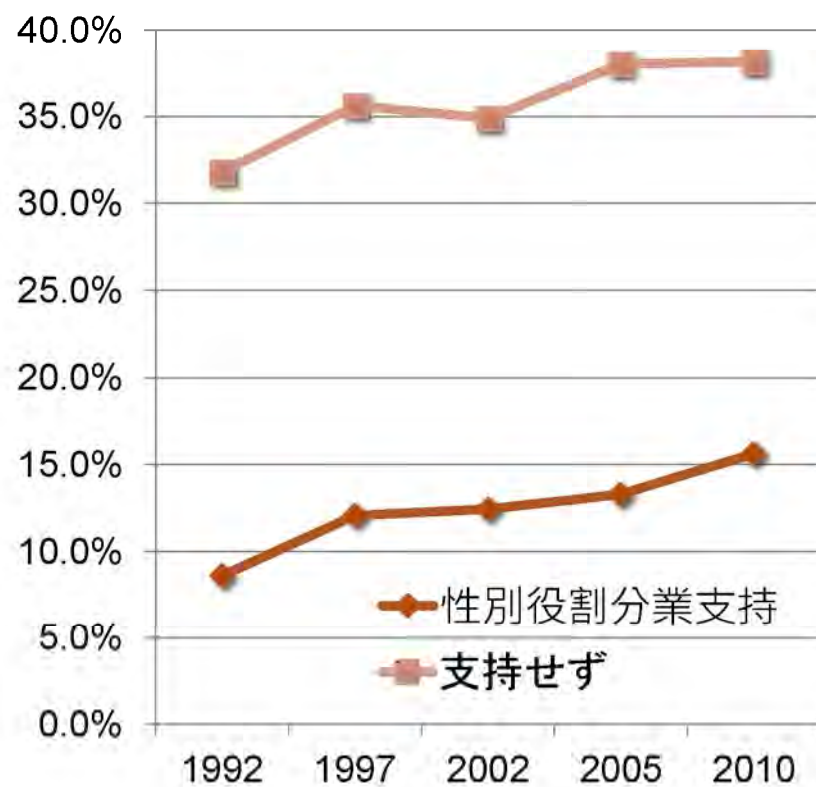


予想＝専業主婦

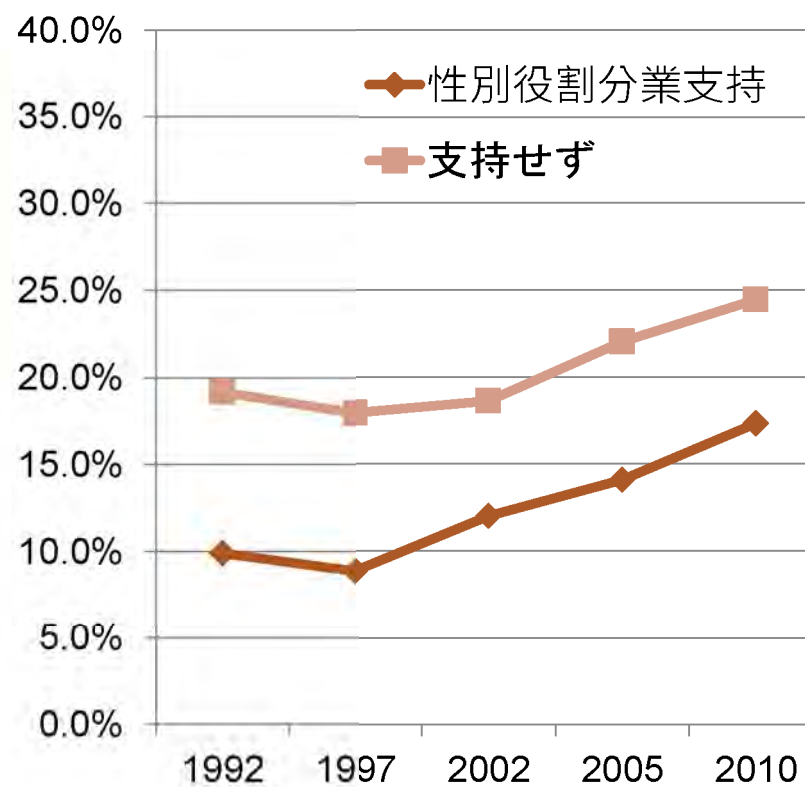


調査年別、性別役割分業意識別にみた、未婚女性のライフコース 〔両立コース〕

理想＝両立

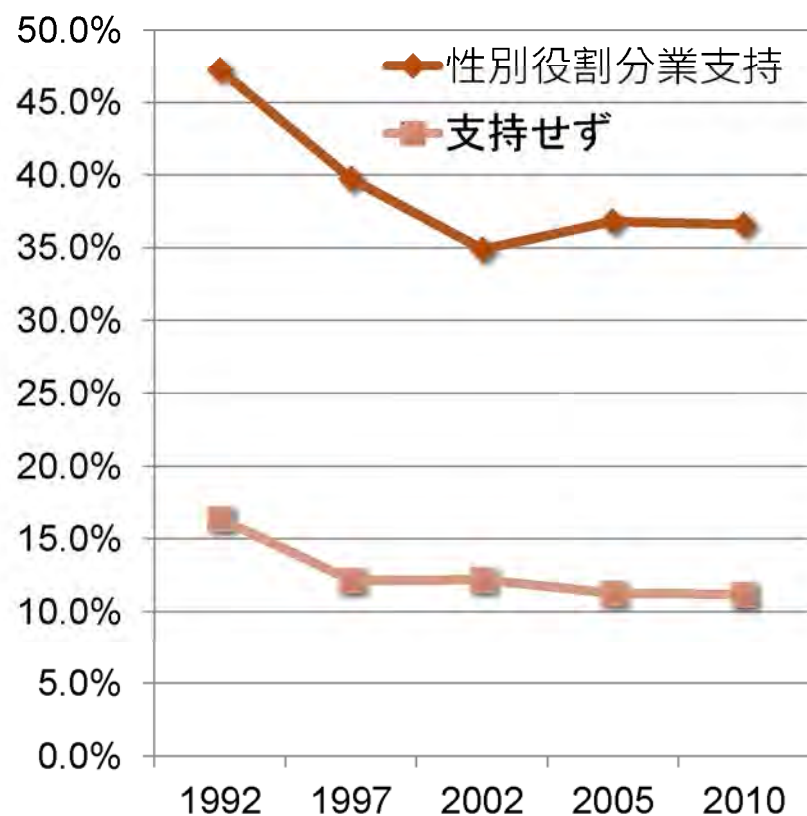


予想＝両立

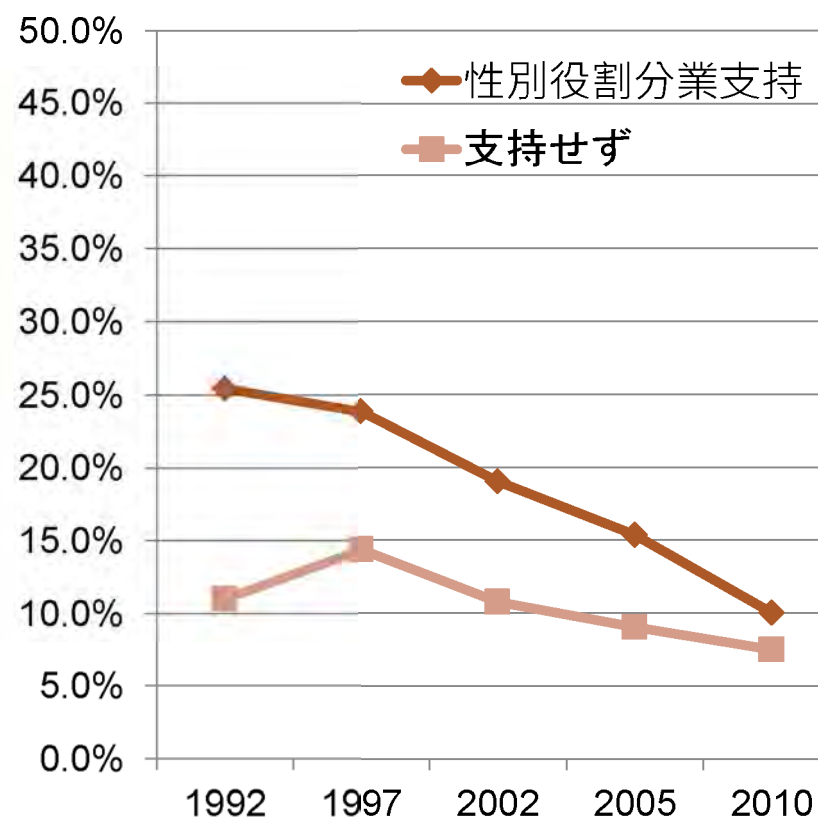


調査年別、性別役割分業別にみた、未婚女性のライフコース 〔専業主婦コース〕

理想＝専業主婦



予想＝専業主婦



理想・予想ライフコース:

社会経済的属性・ジェンダー意識別にみた結果

- 全体:

- 理想: 90年代の変化顕著。その後も両立c増、専業主婦c減
- 予想: 非婚就業c、大幅増。両立c増、専業主婦c減

- 出生年別:

両立c

- 理想 1992年と1997年中間コーホートが高く、若いコーホート低い。2000年代もややその傾向、2005年以降は異なる
- 予想: 概ね、若いコーホートで高いが、一番若いコーホートでは低

専業主婦c

- 理想 1992年までは若いコーホート高。1997年以降コーホートによる差ほぼなし(ただし1960年前半生、一番低い)
- 予想 どの調査年も若いコーホート高

• 学歴

- 両立c理想: 学歴が高い方が、高。特に大卒で高割合。女子大卒は、時代による揺れ大
- 両立c予想: 大卒で高いが、学歴による差は小さい
- 専業主婦c理想: 学歴による差、近年ほど小さい。(大卒未満の経年変化大きい)
- 専業主婦c予想: 学歴による差、小。全般に近年ほど割合低い。

• 就業形態

- 両立c: 理想も予想も、就業形態に関わらず、増加傾向。理想も予想でも、パートと正規職員の差、大きくなる傾向。
- 専業主婦c: 理想も予想も、どの形態でも、減少傾向。理想: 正規職員とパートの差、なし。

- 収入別:

- 両立c 理想も予想、収入に関わらず増加傾向。高収入のほうが両立c理想高い。予想は、収入による差小さい。
- 専業主婦c、両立cと反対の傾向

- 親との同居の有無別:

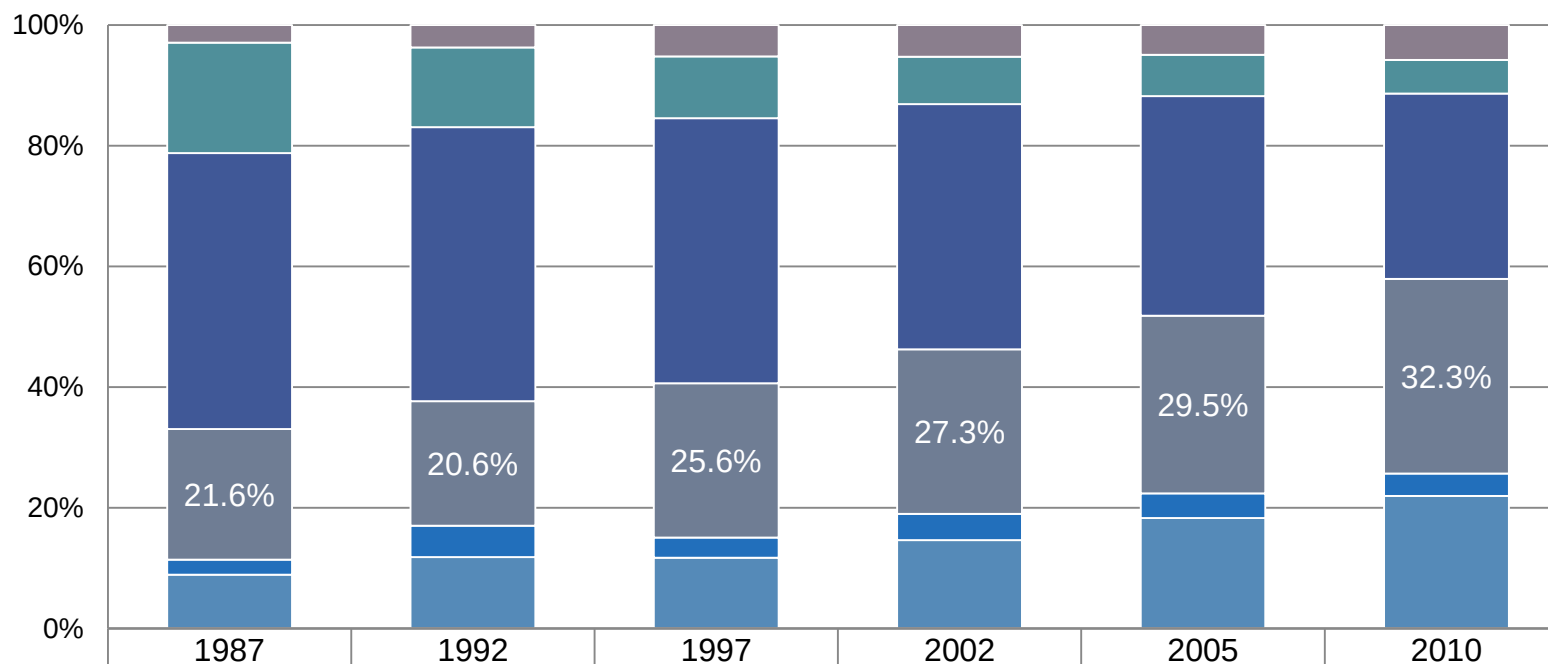
- 両立c 理想:同居していないほうが高い。予想:同居の有無による差、ほぼなし(1987年以外)
- 専業主婦c:理想:親と同居している方が、高い。予想 同居の有無による差、2002年以降ほぼなし

- 性別役割分業意識別:

- 両立c 理想も予想も役割分業を支持する方が低い。理想での差大きい
- 専業主婦c 一両立cと逆パターン

ライフコース： 理想と予想のギャップ

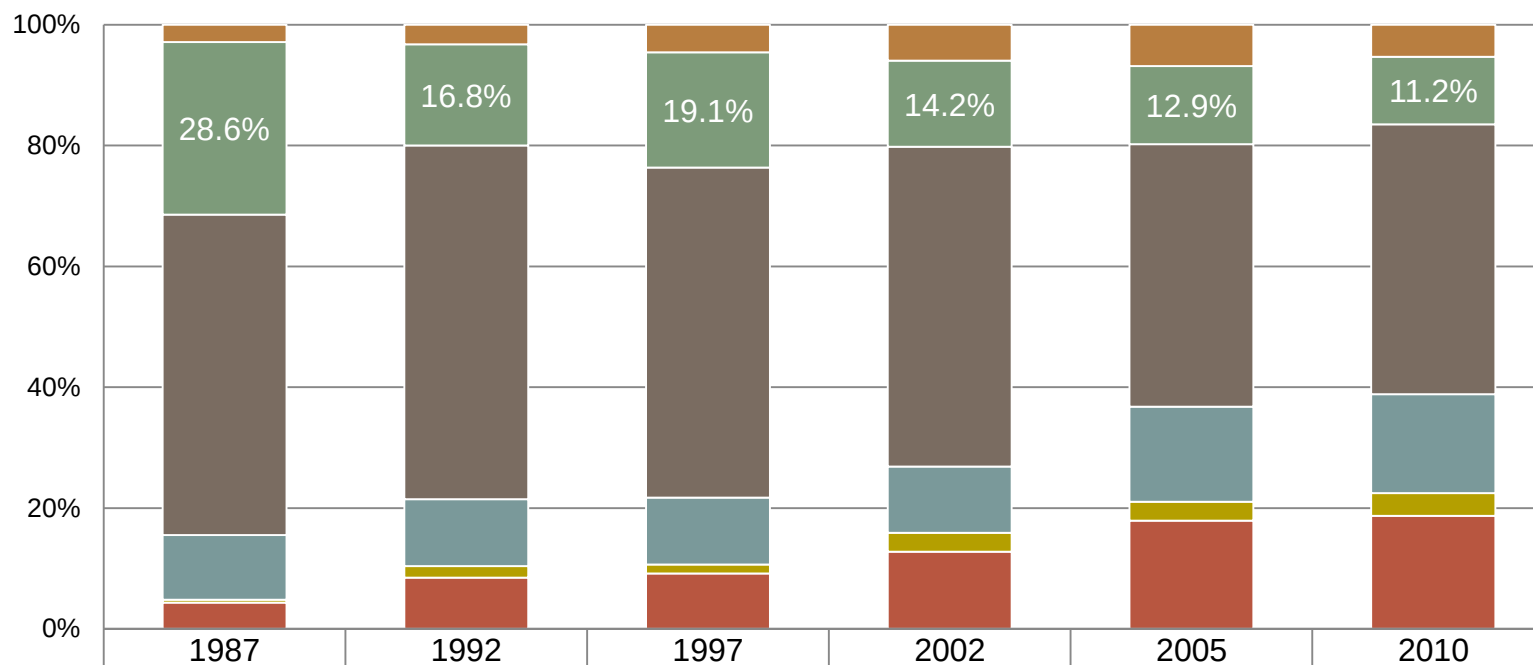
両立コースを理想とする女性の予想ライフコース



理想ライフコース＝両立

■ その他 不詳	2.9%	3.7%	5.2%	5.2%	5.0%	5.8%
■ 専業主婦	18.3%	13.2%	10.3%	7.9%	6.8%	5.6%
■ 再就職	45.7%	45.4%	43.9%	40.6%	36.4%	30.7%
■ 両立	21.6%	20.6%	25.6%	27.3%	29.5%	32.3%
■ DINKS	2.5%	5.2%	3.4%	4.4%	4.1%	3.7%
■ 非婚就業継続	8.9%	11.9%	11.7%	14.6%	18.3%	22.0%

専業主婦コースを理想とする女性の予想ライフコース



理想ライフコース＝専業主婦

■ その他 不詳	2.9%	3.2%	4.6%	6.0%	6.9%	5.3%
■ 専業主婦	28.6%	16.8%	19.1%	14.2%	12.9%	11.2%
■ 再就職	53.0%	58.5%	54.6%	52.9%	43.5%	44.7%
■ 両立	10.7%	11.1%	11.1%	11.0%	15.7%	16.4%
■ DINKS	.5%	1.9%	1.5%	3.1%	3.1%	3.7%
■ 非婚就業継続	4.4%	8.5%	9.2%	12.8%	17.9%	18.7%

ギャップの「規定要因」

- 両立コースを理想とする女性
 - 両立を予想する人と、それ以外のコースを予想する人は何が違うか

両立コースが実現すると考えるか否かのロジスティック回帰分析の結果(分析対象:両立コースを理想とする女性)

+:正 -:負(有意確率<.05)

	1992	1997	2002	2005	2010
出生年	+	+	+	+	+
大卒か否か	+		+	+	+
正規職員か否か					
親と同居か否か				-	
性別役割分業支持か否か					

専業主婦コースが実現すると考えるか否かのロジスティック回帰分析の結果(分析対象:専業主婦コースを理想とする女性)

+:正 -:負 (有意確率<.05)

	1992	1997	2002	2005	2010
出生年	+	+		+	
大卒か否か					+
正規職員か否か				-	
親と同居か否か					
性別役割分業支持か否か	+	+	+	+	+

まとめ

- 理想コース、予想コース共、両立コースが増え、専業主婦コースが減少
 - しかし主流は再就職コース
 - 大きな変化は1990年代にみられた
- 理想コースが専業主婦でも両立コースでも、予想コースは再就職コースが一番多い
 - 現状との整合性
- 両立コース実現の規定要因：学歴
 - 性別役割分業意識の効果は？
- 専業主婦コース実現の規定要因：性別役割分業意識

所感

- ライフコースの理想も予想も、「現状」に依存する傾向
 - 人々が想像できる生き方は、何が可能とみなされているかに限定される
 - 未婚女性の意識：実態（実際に両立コースを歩む人）の評価も含まれる
 - 家事育児の女性への偏り
- →根強いジェンダー意識：
 - 女性が就業しても、収入が多くなっても家事育児の負担の偏り残る
（失業中の男性や女性の収入の方が高いカップルの家事分担の研究結果）
 - 男女の仕事が同等の価値がある、とみなされていない現状
 - 共働き家族の質的調査の結果(Takahashi, et al., 2014)
 - シェアしていても、仕事を調整するのは女性
 - 男性が休むことに対する批判、抵抗
 - 企業文化、女性のゲイトキーパー的役割、「母性」神話

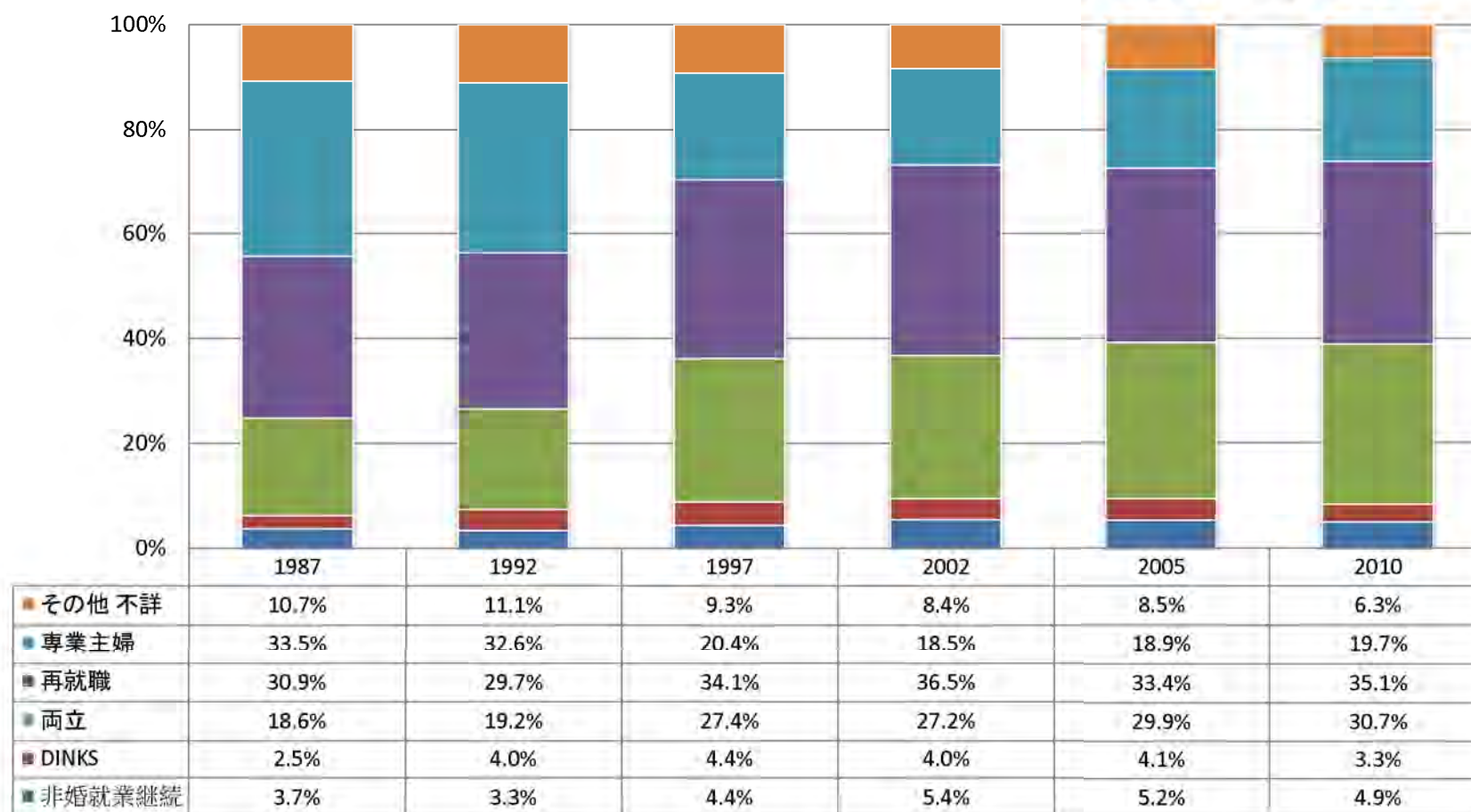


ありがとうございました。

(以下は、補足資料です。)

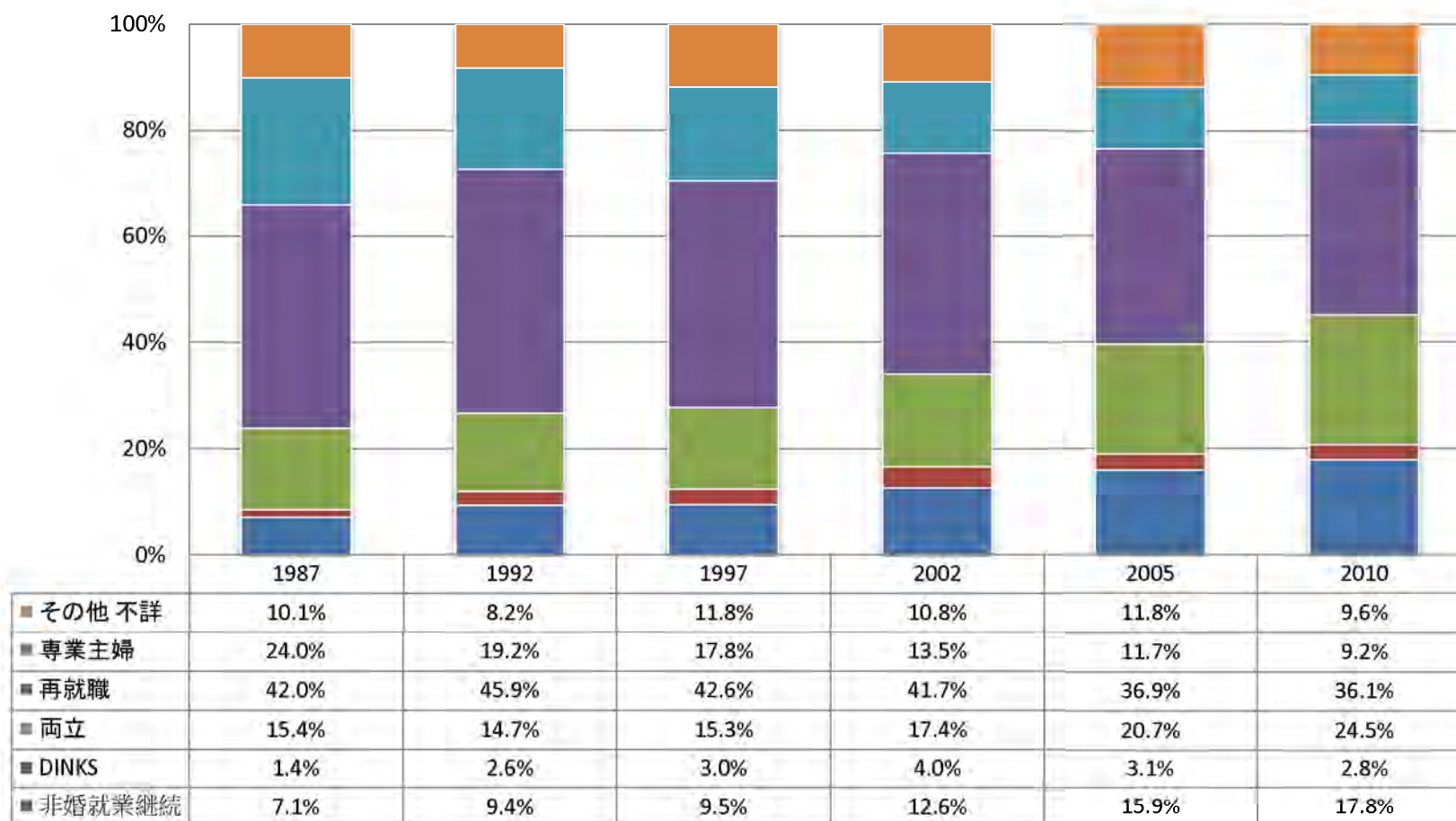
未婚女性(35歳未満)の 理想ライフコースの経年変化

集計対象: 結婚経験がなく調査時点で
異性と同棲していない18～34歳の女性



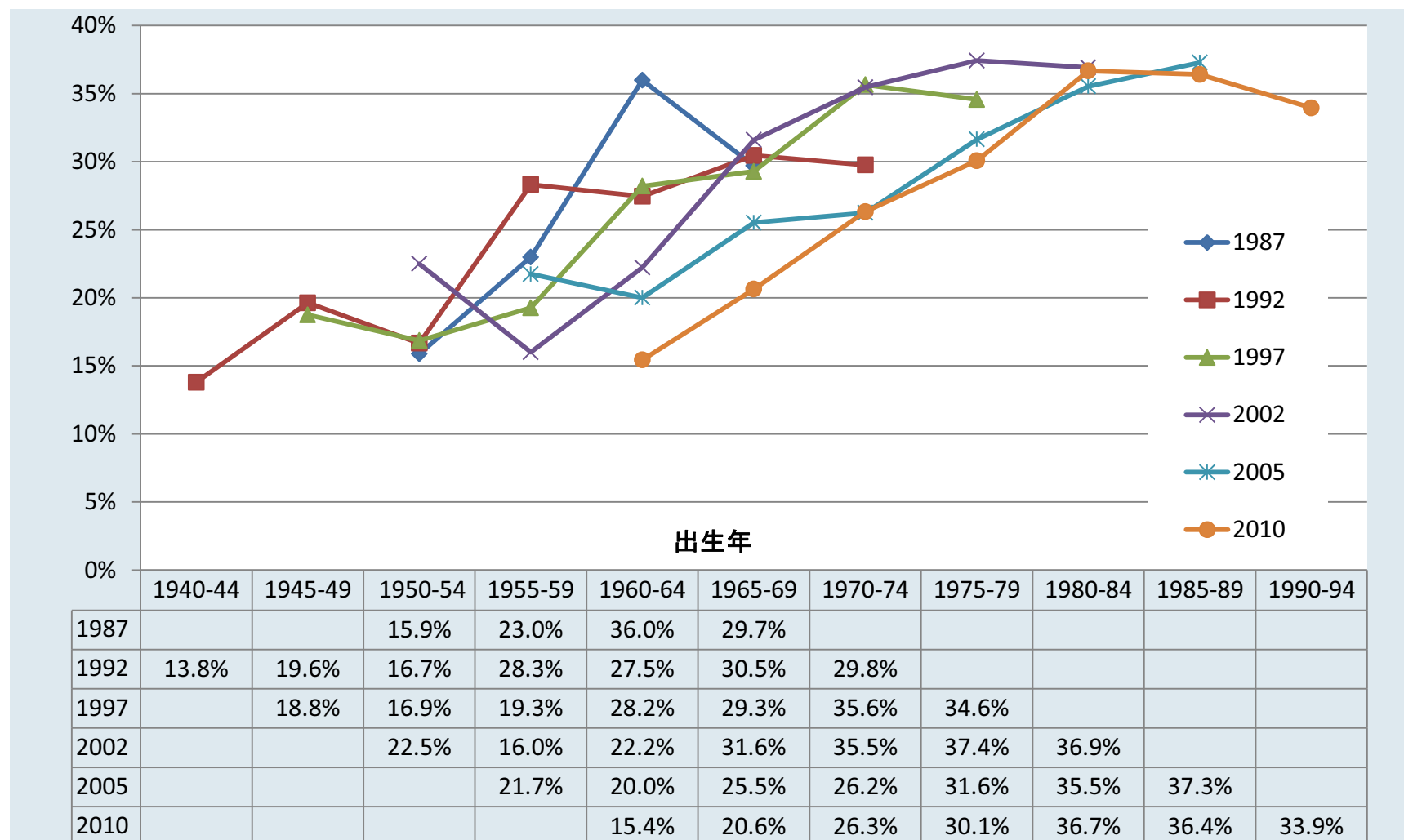
未婚女性(35歳未満)の 予想ライフコースの経年変化

集計対象:結婚経験がなく調査時点で
異性と同棲していない18～34歳の女性



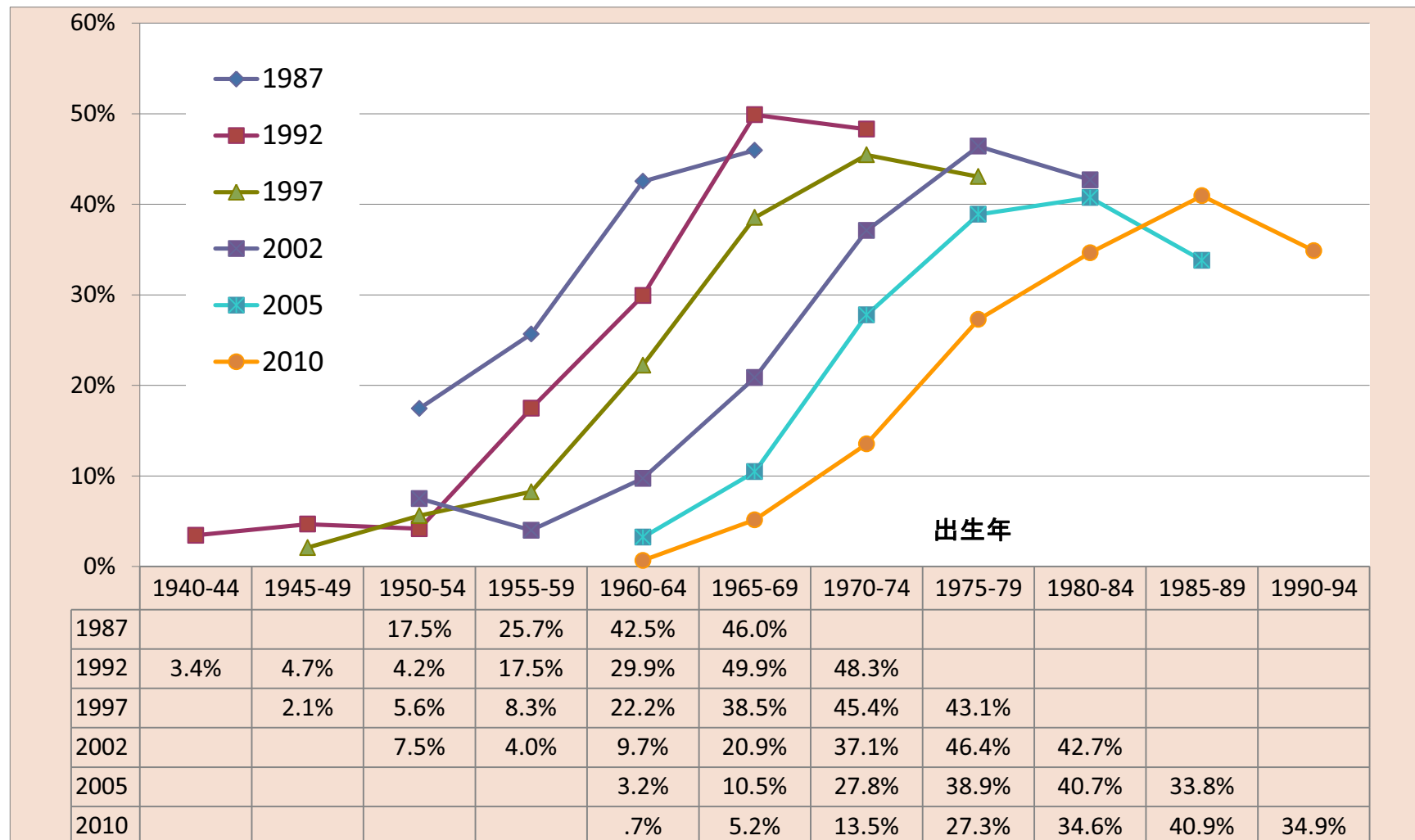
未婚女性のライフコース

調査年別、出生年別にみた「再就職コース」を理想とする割合



未婚女性のライフコース

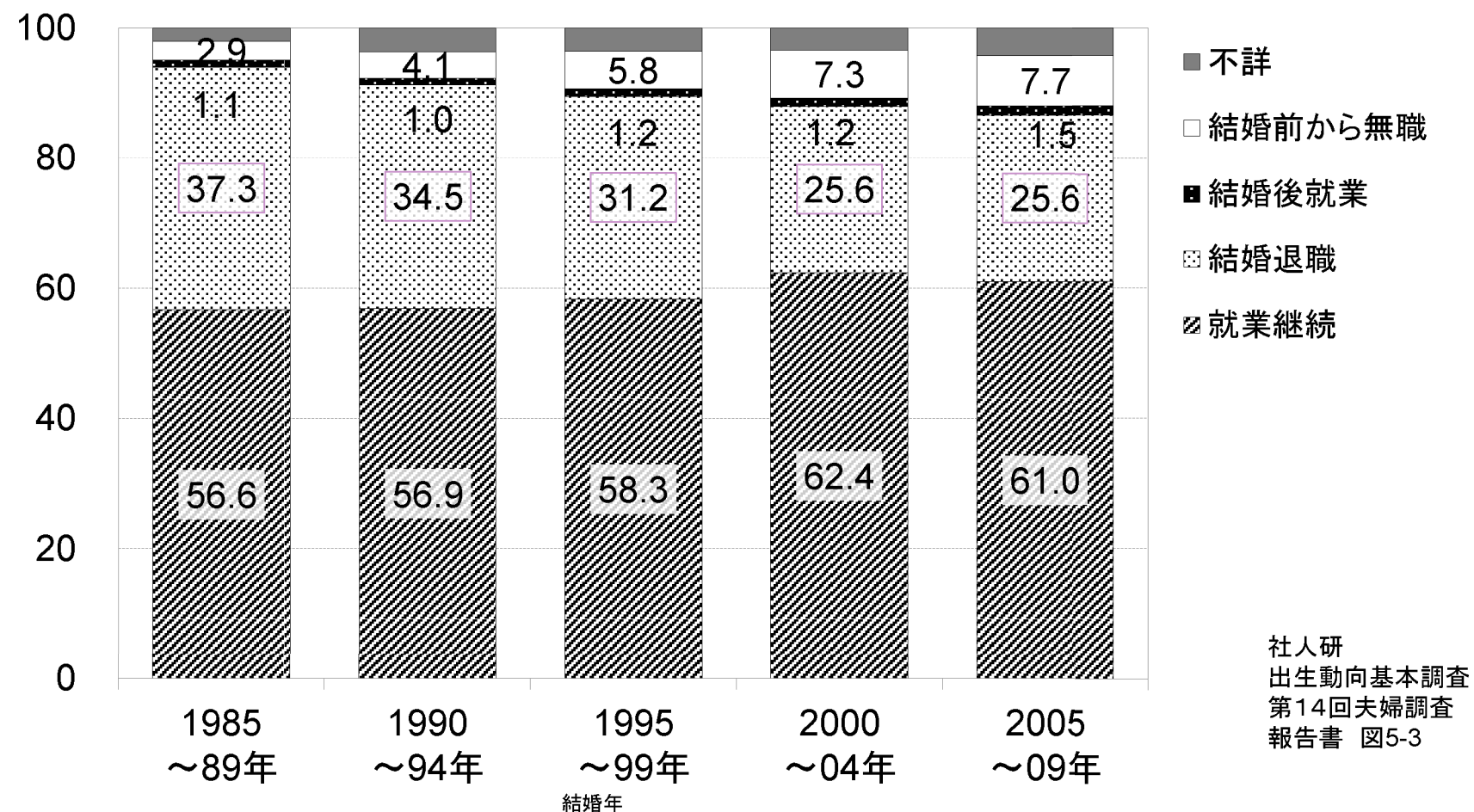
調査年別、出生年別にみた「再就職コース」を予想する割合



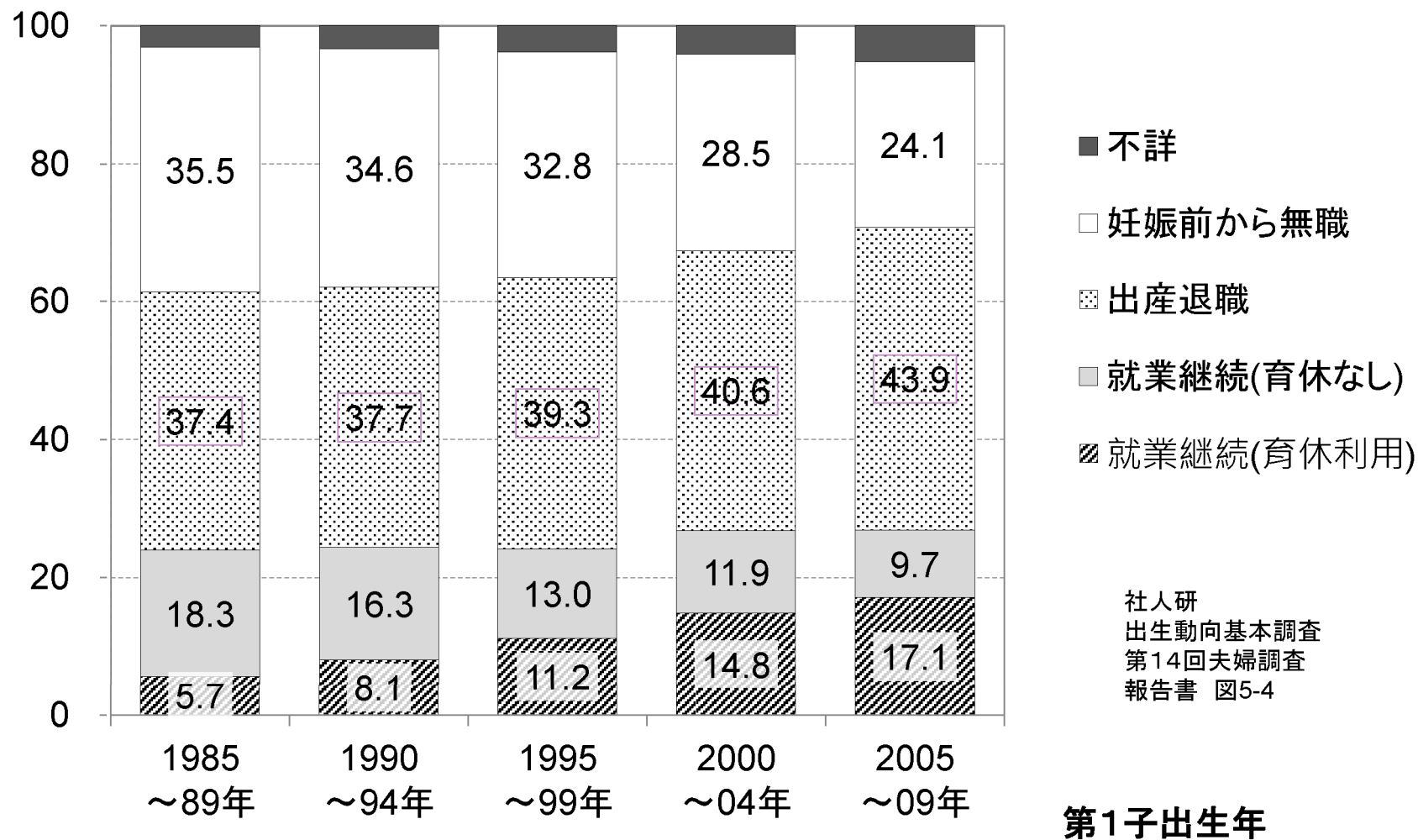
実際の女性のライフコース (結婚・出産・就業)

出生動向基本調査(夫婦調査)からわかる実態

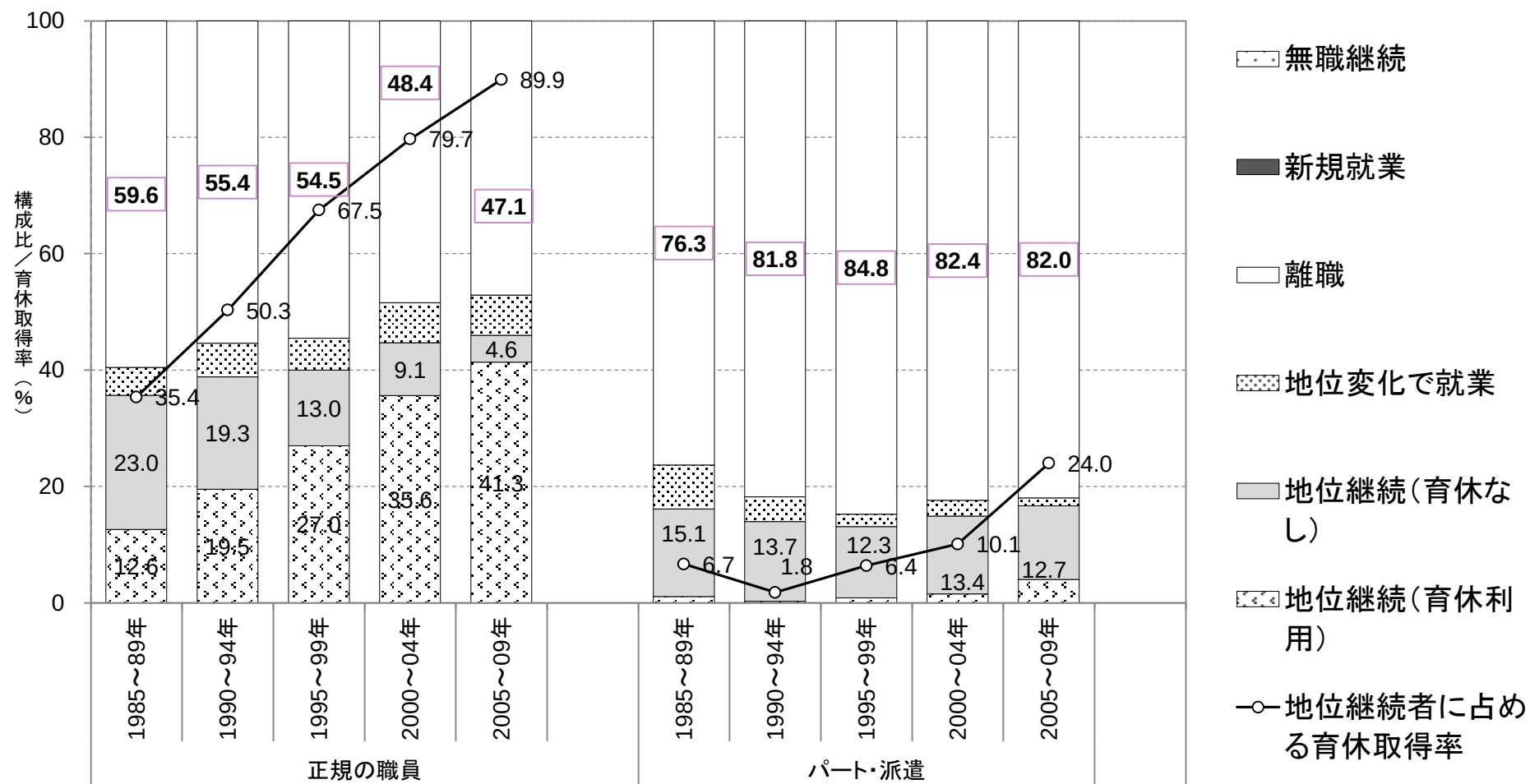
結婚年別にみた、結婚前後の妻の就業変化



第1子出生年別にみた、第1子出産前後の妻の就業変化

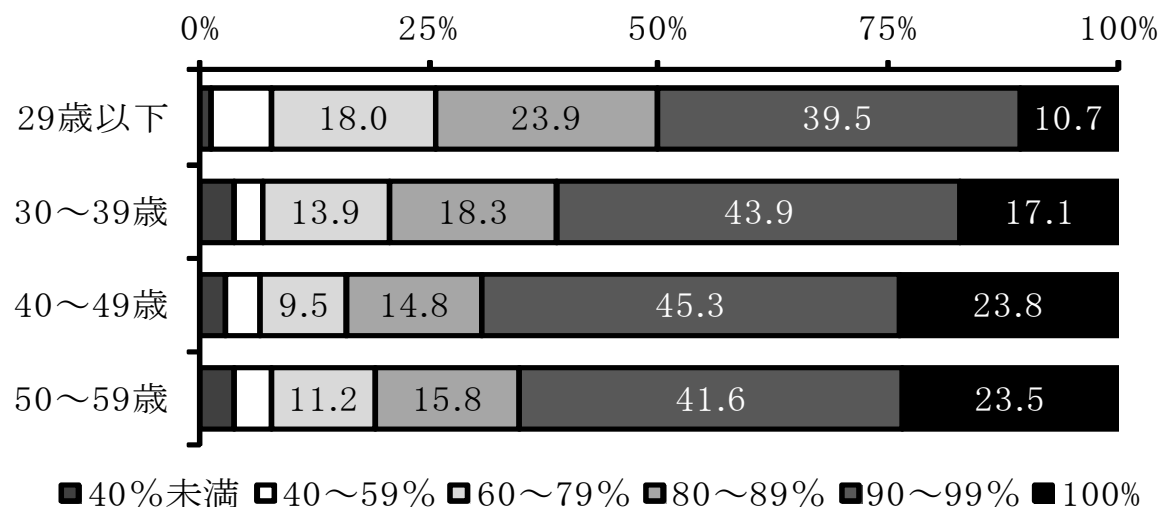


第1子妊娠前の従業上の地位別にみた、妻の就業異動パターン

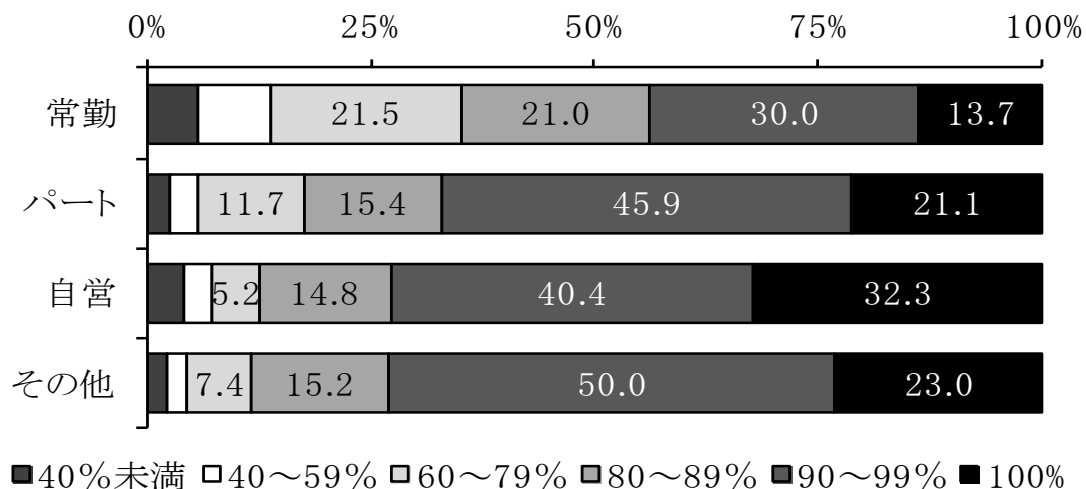


家事・育児労働の女性への偏り

- 妻の年齢別にみた妻の家事分担割合の分布



- 妻の従業上の地位別にみた妻の家事分担割合の分布



第5回全国家庭動向調査(2013年、社人研実施)

注1) 妻の年齢が60歳未満について集計。

注2) 自営には家族従業者を含む。

その他の大多数は仕事を持たないいわゆる専業主婦である。

参考文献

- Takahashi, Kamano, Matsuda, Onode and Yoshizumi, 2014. “Worklife balance in Japan: new policies old practices,” in Hobson, Barbara (ed.), *Worklife Balance: The Agency and Capabilities Gap*. Oxford University Press.
- 国立社会保障・人口問題研究所「全国家庭動向調査」(報告書)
- 国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査」(報告書)